

第10回いのちの輝きを考える日

ちから いずも
～いつもの力、出雲の地から～

認知症やがん末期などの終末期においてその人らしい尊厳ある人生の最期を迎えるためにはどのような医療やケアがふさわしいのか。また、それをどう自己決定していくのか。ともに考え、明日からの生き方につなげましょう。

3密を避けて開催！
ZOOMによるオンライン同時配信もします。

日時 2021年10月16日(土) 13:30～16:30

場所 うらら館ごえんホール(出雲市大社町)



① 基調講演

「老病死から学ぶ『いのちの輝き』」

佐藤第二病院院長 田畑正久さん

② 意見交換

田畑正久さん

石飛幸三さん(特養・芦花ホーム医師)

中山博識さん(老人保健施設たき管理医師)

講師(田畑正久)プロフィール

1949(昭和24)年 大分県生まれ。医学博士、龍谷大学客員教授、大分大学非常勤講師。昭和48年九州大学卒業。外科の道に進む。九州大学付属病院、国立中津病院。東国東広域国保総合病院(現、国東市民病院)、同病院院長を10年間勤め勇退、現在佐藤第二病院(大分県宇佐市)院長。日本外科学会専門医、指導医、飯田女子短大客員教授(平成16-21年)、龍谷大学大学院教授(平成21-31年)を歴任。1990年頃より、大分県内を中心に「歎異抄に聞く会」を開催。ビハーラ活動、「医療と仏教の協力関係」構築に取り組んでいる。

事前申込必要！
参加費無料
マスク着用願います

主催：いのちの輝きを考える日実行委員会

共催：出雲成年後見センター、ELCしまね

後援：島根県、出雲市、島根県医師会、島根県歯科医師会、出雲医師会、島根県看護協会、日本精神科看護協会島根県支部、島根県訪問看護ステーション協会、島根県薬剤師会、島根県老人保健施設協会、島根県介護支援専門員協会、島根県社会福祉士会、島根県精神保健福祉士会、島根県理学療法士会、島根県作業療法士会、山陰言語聴覚士協会、島根県臨床心理士・公認心理師協会、島根県介護福祉士会、島根県医療ソーシャルワーカー協会、島根県相談支援専門員協会、出雲市社会福祉協議会、出雲地域介護保険サービス事業者連絡会、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、飯南病院、認知症の人と家族の会島根県支部、山陰中央新報社、島根日日新聞社

【事前申込方法】先着100名まで

①氏名 ②携帯番号(固定電話も可) ③メールアドレス(任意)を記してハガキかfax、メールで下記まで。

QRコード(又はURL)からの申込みもできます。→→→→→→→→

〒693-0014出雲市武志町693-1ふあつと内 井上明夫 宛

携帯 090-4570-6577 fax 0853-25-3401

✉ akichan550212@yahoo.co.jp



<https://forms.gle/RGKWtnC3M3YXYUSW6>